



平成 28 年 8 月 27 日 (土) に新潟県柏崎市  
西山町の<sup>うしろだに</sup>後谷ダムで、約 1500 本のロウソク  
の灯りでダムをライトアップする「<sup>まんとうえ</sup>万灯会」  
が開催されました。後谷ダムは柏崎周辺 (二  
期) 農業水利事業により築造され、平成 20  
年 12 月の試験湛水により初満水になったこ  
とを記念し、ロウソクの光によるライトアッ  
プする万灯会を開催しました。これをきっか  
けとして、平成 23 年から毎年夏に、後谷ダ  
ムでの万灯会を定期的で開催しており、今回  
で 7 回目の開催となります。

万灯会の開催に当たっては、ダム地元の後  
谷集落、別山コミュニティ振興協議会、柏崎  
土地改良区、柏崎周辺地区国営土地改良推進  
協議会、ダム湖に隣接する宿泊施設「ゆうぎ」、  
柏崎周辺農業水利事業所で組織された、「後  
谷ダム万灯会実行委員会」を中心に、準備を  
進めてきました。例えば万灯会の開催に際し、  
来場者が心地よく万灯会に参加できるよう  
にするために、ダム堤体やその周辺の草刈り  
も毎年行っています。本年度は、地元集落や  
関係機関職員あわせて約 50 名と、柏崎周辺  
地区における地域貢献活動の参加事業者約  
40 名と大勢の方が協力して担当範囲ごとに  
4 日に渡って草刈りを行いました。

また、万灯会当日に使用するキャンドルグ  
ラスは、ダム近隣の小学生や柏崎農業まつり、  
<sup>くそうず</sup>草生水まつりの来場者に作成をお願いして  
おり、絵を描いた色紙をガラス瓶に巻き付け  
ることで、カラフルな絵行灯のように仕上げ  
ました。この色鮮やかなキャンドルグラスは約 7 0 0 個用意され、堤体天端の中央部  
から堤体を彩ります。



事前準備、隅々まで草刈りをしました



万灯会当日に後谷ダムにかかった虹



自分が描いたキャンドルグラスにご満悦のようす

万灯会当日は、雨の予報で開催が危ぶまれましたが、来場者や参加者の願いが通じたのか、夕方には雨も上がり、万灯会の開催を祝うかのように、大きな虹までかかりました。そして辺りも暗くなってきた午後6時30分。いよいよ後谷ダム万灯会の開催です。

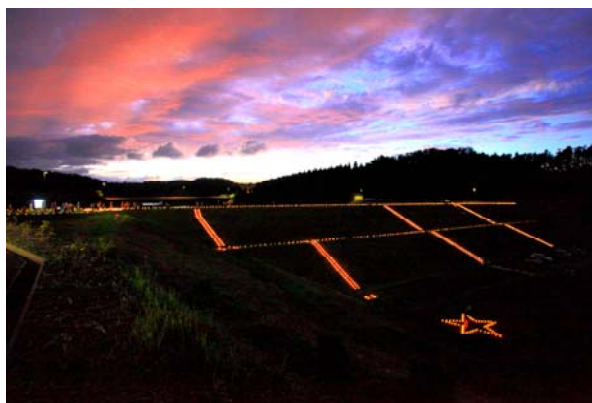
開催に際し、柏崎土地改良区の三富佳一理事長より「後谷ダムの水は西山、刈羽地域のかんがい用水として大きな役割を果たし、米の生産に貢献している。今日は万灯会の火をともし、宵のひとつときを楽しんで欲しい」とのご挨拶をいただき、万灯会がスタートしました。その後、来場者によるキャンドルグラスの点火式を行い、堤体に並べられたキャンドルグラスに一斉に点火し、ろうソクの光に照らされた堤体の姿がゆっくりと浮かび上がってきました。すべてのキャンドルに光が灯される頃には、雲の切れ間から月灯りも万灯会に加わり、後谷ダムは幻想的な雰囲気になりました。

また、今年度からは後谷ダムの役割を来場者に知ってもらおうと、5分ほどの動画を作成し、スクリーンで上映する取組もはじめ、大勢の来場者が足を止めていました。

午後7時20分からは地元のコーラス教室「西山コーラスたんぽぽ」の皆様（16名）によるコンサートが行われました。ダム湖に響く美しい歌声に多くの来場者が足を止め特設ステージの前には大勢の観客が詰めかけ、光と歌声に包まれながら本年度の万灯会は幕を閉じました。

来場者へのアンケートからは「幻想的で綺麗だった」「地域おこしのためにも今後も続けて欲しい」という声とともに、「地域にこのようなダムがあることを知らなかった」「後谷ダムの貯水の方法と利用方法についてもう少し詳しく知りたい」という声も聞かれ、万灯会が農業用ダム・水利施設への理解増進に寄与している側面も伺えました。

当事業所としても、後谷ダムが地域の財産として愛されながら、地域の活性化につながるよう、今後とも後谷ダム万灯会を応援していきたいと考えています。



ダム堤体の輪郭が浮かび上がります



後谷ダムの紹介ムービーも好評でした



美しい歌声がダム湖に響き渡りました